

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西中島小学校協議会

1 総括についての評価

最重要目標1に関しては、目標達成に向けた取り組みを確実に行った結果、年度目標を大きく達成した項目（学校が楽しい）があったこと。不登校の改善の割合は変わりないが、各関係機関との連携を進めることができていることの評価を得た。

最重要目標2に関しては、学力、対話的な学びの項目で大きく目標を達成した。なかでも対話的な学習を視点とした授業研究が大きいとの見方を得た。一方、体育の授業を中心として運動好きの子どもをどう育てるのかの課題を共有できた。

最重要目標3に関しては、ICTの推進、働き方改革を進められている結果が出た。読書に関しては経年調査では目標を下回ったものの、校内アンケートでは90%を超える高い結果となっていることで、十分に取り組みは進められていることの評価を得た。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 「学校に行くのが楽しい」は取り組みの成果があり、大きく上回った。
- 関係機関と連携をしながら、不登校への取り組みは今後も継続して行う必要がある。
- 自己肯定感は高まってきた。普段の生活からの指導も重要視して取り組んでいってほしい。

年度目標：【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- いずれの学年も向上したが、継続して指導改善、指導力向上につとめていく。
- 授業の組み立て、意見交流の場の設定が対話への意識を高めている結果につながっている。
- 目標に及ばなかったことも踏まえ、体育の授業改善を期待する。

年度目標：【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 今後もICTの活用の推進を期待する。
- 心的負担軽減や働きがいについても考えていくということが良い。
- 読書の目標は達成できていないが、校内アンケートは大幅に上昇していることも踏まえ、取り組みの成果が表れてきている。

3 今後の学校園の運営についての意見

少人数のデメリットはある中、メリットを生かして様々なことに取り組み、子どもたちの良さを伸ばしてくれている。学校、教職員のがんばりを感じる。今後も少人数であることを強みと捉え、工夫した取り組みを続けてほしい。